

た。神戸新聞などからも取材を受けた。

同社が運営する宿泊施設「篠山城下町ホテルNIPPONIA」は、2015年10月にオープン。婚礼の際、エリア内の神社などで挙式を実施してきたが、篠山らしい場所での挙式提案もしていきたいと考え、篠山城跡が候補に。近隣に住む若者たちに、結婚式を通して歴史や文化を体験してもらい、篠山の魅力、



▲甲冑は重さ10kg

からスタート。誓いの言葉では巻物に言葉を記し、終始江戸時代をイメージさせる進行となった。

今後は篠山城大書院での挙式

バリューマネジメント(本社:大阪市北区)と、文化施設の管理運営業務などを行う一般社団法人ウイズささやまは、4月16日、篠山城跡内の大書院にて、「篠山祝言～甲冑婚～」の模擬挙式を開催し

## 「甲冑婚」の模擬挙式実施

バリューマネジメント 篠山の文化を発信する

価値を再発見してほしいとの思いから、甲冑婚の企画に至った。

江戸時代に創建され発展していった篠山城跡内大書院で、新郎は武将を象徴する甲冑を着用。鹿児島職人が作ったもので、重さは約10kgになるという。模擬挙式は、新婦が母親に紅をさしてもらい「嫁入りの儀」

と、同ホテルでのパーティがセットになったプランの提案も注力していく。価格は6名68万5000円。甲冑を着用する場合はプラス18万円。

「篠山城はお濠での写真撮影もオススメです。日本の文化を感じてもらえる結婚式を提案し、篠山の文化も伝えていければ。」(社長室秘書/広報・木村真奈美氏)



▲今後はプランの提案も強化